

津波・水害から命を守るために

水害ハザードマップ

生野区

津波



河川氾濫



内水氾濫



地下街浸水



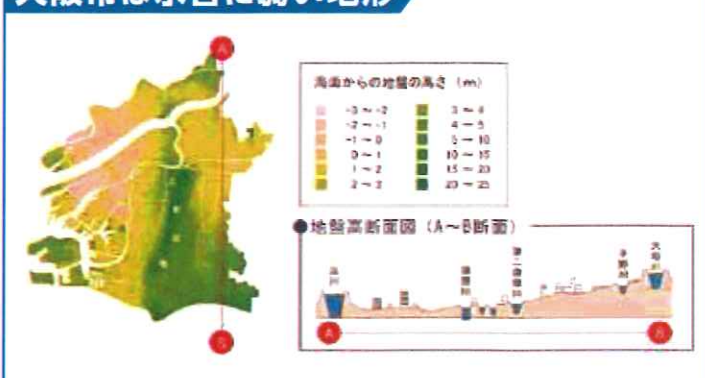
近年、河川や下水道の能力を超える豪雨が増えています。近畿地方では平成25年9月の台風18号で由良川や桂川が氾濫し、福知山市や京都市嵐山地区などで大規模な浸水被害が発生しました。大阪市でも、平成25年8月に発生した集中豪雨により梅田地区で内水氾濫が起きました。

また、平成23年3月の東日本大震災ではマグニチュード9.0の地震による大きな津波が発生し、甚大な被害をもたらしています。

大阪市は、淀川、大和川、神崎川、寝屋川などの大きな河川と海に囲まれており、平坦な低地が広がっています。そのため水害に非常に弱く、大雨や津波が発生した場合、河川氾濫や内水氾濫、津波浸水が起こることが想定されています。

この「水害ハザードマップ」は、大雨や津波に備えて、市民のみなさんに知っていただきたいことや、河川氾濫や内水氾濫、津波により浸水が予想されている区域と浸水深を示した地図をまとめたものです。このマップを確認し、水害からご自身やご家族、地域を守る活動にお役立てください。

大阪市は水害に弱い地形



防災情報の収集先一覧

避難の情報

おおさか防災ネット
(防災情報メール)

<http://www.osaka-bousai.net/pref/index.html>
touroku@osaka-bousai.net

おおさか
防災ネット



防災情報
メール登録



川の防災
情報



気象庁



大阪府
河川防災情報



大阪市
降雨情報



水位・河川の情報

国土交通省川の防災情報
大阪府河川防災情報

<http://www.river.go.jp/>
<http://www.osaka-kasen-portal.net/suibou/index.html>

津波の情報

気象庁

<http://www.jma.go.jp/jma/index.html>

気象(雨など)の情報

気象庁
大阪市降雨情報

<http://www.jma.go.jp/jma/index.html>
<http://www.ame.city.osaka.lg.jp/pweb/>

大阪市ではどんな水害が起こるの？

大阪市では、河川管理者等(近畿地方整備局、大阪府、大阪市)によって大雨が降った場合や地震による津波が発生した場合の浸水が想定されています。想定されている水害は、河川氾濫、内水氾濫、津波浸水の3種類です。

河川氾濫

長時間雨が激しく降ると、河川の増水により堤防が壊れたり、堤防から水が溢れ出して浸水します。



内水氾濫

水路や下水道の排水能力を超える大雨が降ったり、河川の水位上昇により十分に排水できなくなると、雨水が溢れ、住宅地や道路などが冠水します。



津波浸水



大阪市全域の浸水想定図

河川氾濫(堤防が決壊した場合)

浸水想定結果は、下に示す条件の場合に浸水が想定される区域やその深さを表したものです。しかし、雨の降り方や地震の大きさによってはこの図に示されていない場所でも浸水する可能性があり、浸水深も深くなる場合がありますので注意してください。

①淀川が氾濫した場合



②大和川・東除川が氾濫した場合



③神崎川・安威川が氾濫した場合



④寝屋川・第二寝屋川・平野川・平野川分水路が氾濫した場合



内水氾濫

⑤内水氾濫した場合



津波浸水

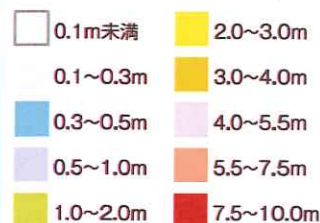
⑥東南海・南海地震による津波が発生した場合



⑦南海トラフ巨大地震による津波が発生した場合



浸水の深さ



想定している雨や地震の条件と浸水想定結果や河川整備等に関する問い合わせ先

河川・津波	想定している雨や地震の条件		公表年月	問い合わせ先	電話番号
① 淀川	総雨量 ^{注1)} 500mmの降雨	昭和28年9月洪水(台風13号)の2倍の降雨(東海豪雨級の降雨) ^{注2)}	平成14年 6月	国土交通省近畿地方整備局 淀川河川事務所	072-843-2861
② 大和川	総雨量 ^{注1)} 280mmの降雨(石川合流点下流)	200年に一度起きる程度の降雨	平成14年 3月	国土交通省近畿地方整備局 大和川河川事務所	072-971-1381
東除川	総雨量 ^{注1)} 233.9mm、時間最大雨量 ^{注1)} 75.8mmの降雨	100年に一度起きる程度の降雨	平成17年 7月	大阪府富田林土木事務所	0721-25-1131
③ 神崎川	総雨量 ^{注1)} 567mm、時間最大雨量 ^{注1)} 93mmの降雨	東海豪雨級の降雨 ^{注2)}	平成25年 2月	大阪府西大阪治水事務所	06-6541-7771
安威川				大阪府茨木土木事務所	072-627-1121
④ 寝屋川・第二寝屋川・平野川・平野川分水路			平成24年 3月	大阪府寝屋川水系 改修工営所	06-6962-7661
⑤ 内水氾濫 ^{注3)}			平成27年 2月	大阪市建設局下水道河川部	06-6615-7594
⑥ 東南海・南海地震津波	マグニチュード8.6程度の地震が発生し、防潮扉(夜間、開放されているもの)などが閉まらなかった場合に津波による浸水が起きた場合(満潮時を想定)		平成16年 3月	大阪市港湾局	06-6615-7782
⑦ 南海トラフ巨大地震津波	マグニチュード9.1程度の地震が発生し、最大クラスの津波による浸水が起きた場合(防潮堤の沈下や防潮施設の閉鎖状況を考慮)(満潮時を想定)		平成25年 8月	大阪府 危機管理室防災企画課	06-6944-6487

注1)総雨量は、雨の降りはじめから降り終わり(2~3日間)に降った雨の総雨量で、時間最大雨量はその期間中、最も雨が降った時間の1時間あたりの雨量のことです。
注2)平成12年9月に、東海地方で観測された過去100年間で最大級の豪雨。約58万人に対して避難勧告、指示が出されるなど大きな被害をもたらしました。
注3)内水浸水想定では、寝屋川・第二寝屋川・平野川・平野川分水路において、河川の水位が高くなった場合に、堤防の決壊を回避するため下水道から河川へのポンプ排水量を制限することを想定しています。

このパンフレットに関するお問い合わせは、大阪市危機管理室まで TEL:06-6208-7385

このパンフレットについては、大阪市危機管理室のホームページでもご覧になれます。http://www.city.osaka.lg.jp/kikikanrishi/

大雨が降ってきた!地震が起こった!どうする?

気象情報に注意する

・テレビやラジオ、電話(177)、インターネットなどを利用して、気象庁から発表される警報・注意報などの情報に注意しましょう。

大雨が降ったとき

むやみに外出しない

- ・台風が接近しているときや豪雨の時は、外出しないようにしましょう。
- ・やむを得ず外出する際は、気象情報を確認し、少しでも危険を感じる場所には近づかないようにしましょう。
- ・特に堤防・海辺・河川での見物は事故のもとです。

川に近づかない

- ・上流の豪雨により、川が急に増水する危険があります。川などに近づかないようにしましょう。
- ・避難の情報が発令されたときは、速やかに近くの建物の3階以上へ避難しましょう。

車の運転は控える

- ・視界が悪く、ハンドル操作やブレーキがきかなくなることもありますので、運転は控えましょう。
- ・アンダーパスなど道路冠水のおそれがある場所は通らないようにしましょう。

周辺の浸水状況に注意

- ・浸水してきたら、近くの建物の3階以上へ避難しましょう。
- ・なるべく階段を使って上の階へ行きましょう。
- ・水路・側溝は水量が増して危険ですので、近づかないようにしましょう。



地震が起こったとき

地震の揺れの程度で油断しない

- ・揺れが小さくても津波が起こることがあります。
- ・海岸や河川敷などでは、小さい揺れであってもまずは避難しましょう。
- ・津波が来る前には、引き波があるといわれることがありますが、前触れなく津波が来ることもあります。

「より早く」、「より高く」逃げましょう

- ・津波は、沿岸部で陸上競技の短距離選手並みのスピードがあります。
- ・くるぶし程度の波でも力が大きく、立っていることができません。
- ・すでに浸水が始まってしまった場合は一刻を争います。「速く」よりも「高い」場所に避難しましょう。近くの津波避難ビルなどの3階以上に逃げ込むようにしましょう。

避難情報が解除されるまでは海岸に近づかない

- ・津波は繰り返し襲ってきます。
- ・避難情報が解除されるまで河川や海岸に近づかないようにしましょう。



避難行動で気をつけること

安全に避難する

動きやすく安全な格好で避難

- ・ヘルメットや防災頭巾などで頭を保護し、すべりにくい靴を履きましょう。裸足や長靴は危険です。
- ・荷物は最小限に、両手がふさがらないようにしましょう。



浸水している状況では近くの高い建物に避難

- ・既に浸水しているなかの避難は非常に危険です。
- ・まっ暗闇ですでに浸水している場合など、避難所へ行くのが困難な場合は、近くの3階以上の建物に一時避難しましょう。

深さに注意

- ・浸水時は50cm、津波は30cm以上の深さになると歩いて避難できなくなります。
- ・くるぶし程度の浸水でも、流れが激しい場合は歩行せず高いところで救援を待ちましょう。

足元に注意

- ・水面下にはふたの外れたマンホールや側溝などの危険な場所があります。
- ・長い棒などを杖代わりにして足元の安全を確認しながら歩きましょう。

協力し合って避難する

一人で行動しない

- ・隣近所に声をかけて集団で避難しましょう。
- ・はぐれないように体の一部をロープで結ぶとよいでしょう。



子どもや高齢者などへの配慮

- ・高齢者や病人、子どもなど、避難に支援が必要な方の安全確保など、避難に協力しましょう。

避難に車はできるだけ使わない

- ・車で避難することはできるだけ控えましょう。
- ・避難する車で狭い道路が渋滞して、緊急車両が通れなかったり、津波にのみこまれて命を落とす危険があります。
- ・アンダーパスなどが浸水していると、立ち往生して脱出できなくなる可能性もあります。



地下や路面の低い場所での被災にご注意ください!

地下街・地下駅・地下室

大雨時、道路にあふれた水が地下街や地下駅、地下室を襲うことがあります。

地下にいるときは、安全と思いきや、外で何が起きているのかを把握するようにしましょう。

階段を流れ落ちる水の勢いは強く、地上への避難は困難になりますので、地下への浸水が予想されるときには早めに避難しましょう。

また、出入口に設置した止水板を越えて浸水してくることがありますので、係員や従業員の指示に従って避難してください。



アンダーパス

鉄道の下など、路面が低くなっている部分は、水がたまる恐れがあります。

大雨の時には十分な注意を心がけてください。



防災情報の伝わり方

防災情報（避難情報、水位・河川情報、地震・津波情報、気象情報）は、様々な方法で市民のみなさんにお伝えします。

しかし、時間帯や災害状況などによっては、防災情報が伝わりにくくなることもあります。

大雨が降っているときや、地震が起きたときは、自ら情報を入手するように心がけてください。



発表される防災情報と市民のみなさんをお願いしたい行動

気象(雨など)の情報

発表内容	発表のめやす	お願いしたい行動
大雨・洪水特別警報	台風や集中豪雨による数十年に一度の降雨量となる大雨で、重大な災害が起こる可能性が非常に高まっているとき	・ただちに命を守る行動をとってください
大雨・洪水警報	大雨や長雨による重大な災害が発生するおそれがあるとき	・不安を感じたら自主避難してください ・避難情報に注意してください
大雨・洪水注意報	大雨や長雨による災害が発生するおそれがあるとき	・非常持出品を確認してください ・気象情報に注意してください ・土のうの設置や貴重品の移動などをしてください

津波の情報

発表内容	発表のめやす	お願いしたい行動
大津波警報(特別警報)	予想される津波の高さが高いところで3mを超える場合	・浸水想定区域外へ避難してください ・区域外への避難が困難な場合や時間的余裕がない場合は、もよりの津波(水害時)避難ビルや鉄筋コンクリート造など堅固な建物(昭和56年以降の新耐震基準による建物)の3階以上に、安全を確認の上、避難してください
津波警報	予想される津波の高さが高いところで1mを超え、3m以下の場合	
津波注意報	予想される津波の高さが高いところで0.2m以上、1m以下の場合	・非常持出品を確認してください ・津波情報に注意してください

避難の情報

避難が遅れると生命に危険を及ぼす可能性があります。できるだけ早めの避難を心がけましょう。

発令内容	発令のめやす	お願いしたい行動
避難指示	人的被害の発生する危険性が非常に高い状況 人的被害の発生した状況	・マンション等にお住まいの方は浸水のおそれのない階へ避難してください ・一戸建て等にお住まいの方は、もよりの避難所や津波(水害時)避難ビルへ避難してください ・避難所へ行くのが困難な場合は近くの3階以上の建物に一時避難してください
避難勧告	人的被害の発生する可能性が明らかに高まった状況	
避難準備情報	人的被害の発生する可能性が高まった状況	・避難行動に時間がかかる方は、浸水のおそれのない階へもしくはもよりの避難所へ避難を開始してください ・それ以外の方は、家族等との連絡、非常持出品の準備等、避難準備を開始してください

※浸水のおそれのない階は、あらかじめ水害ハザードマップの想定でご確認ください。(ただし、浸水の深さはシミュレーションに基づいており、実際の状況と異なることがあります。)

緊急事態の種類とサイレン(警報音)パターン

緊急事態の種類	サイレン(警報音)パターン
大津波警報	3秒吹鳴 2秒休止 3秒吹鳴 2秒休止 3秒吹鳴
津波警報	5秒吹鳴 6秒休止 5秒吹鳴
避難指示	15秒吹鳴 10秒休止 15秒吹鳴 10秒休止 15秒吹鳴
避難勧告	10秒吹鳴 10秒休止 10秒吹鳴 10秒休止 10秒吹鳴
緊急地震速報(震度5弱以上)※1	緊急地震速報チャイム音

※1 緊急地震速報は、震源が近く、揺れの到達時間が早いと予測される場合、揺れてから放送することになるため、放送しない場合があります。



電話が使えない時は

大規模な災害時には、一般電話や携帯電話の通話が制限されます。

NTTの災害用伝言ダイヤルや携帯電話の災害伝言板を活用して、家族や友人に連絡しましょう。

- ①災害用伝言ダイヤル171
NTT西日本(一般電話・音声)
「171」をダイヤルし、ガイダンスにしたがって伝言を登録・再生できます。
- ②災害伝言板
安否情報を登録すると、家族や友人が携帯電話やパソコンから確認できます。
詳しくは、携帯電話会社やNTT西日本のホームページなどをご覧ください。



非常持出品チェックリスト

基本品目 32点

(大人2人分の目安) ※は救急袋の中に入れておく。

☐ 非常持ち出し袋 1個	☐ 包帯※ 2巻
☐ 缶入り乾パン(110g) 2個	☐ 三角巾※ 2枚
☐ 飲料水(500mlペットボトル) 6本	☐ マスク※ 2枚
☐ 懐中電灯 2個	☐ 常備薬・持病薬など※ 適量
☐ ローソク 2本	☐ レジャーシート 1枚
☐ ライター 2個	☐ サバイバルブランケット 2枚
☐ 携帯ラジオ 1台	☐ 簡易トイレ 2枚～
☐ 十徳ナイフ 1本	☐ タオル 4枚～
☐ 軍手・手袋 2組	☐ ポリ袋 10枚
☐ ロープ 5m～ 1本	☐ トイレ用ペーパー 1ロール
☐ 救急袋 1枚	☐ ウエットティッシュ 2個
☐ 毛抜き※ 1本	☐ 現金(公衆電話用の小銭) 約50枚
☐ 消毒液※ 1本	☐ ガムテープ(布製) 1個
☐ 脱脂綿※ 適量	☐ 油性マジック(太) 1本
☐ ガーゼ(滅菌)※ 2枚	☐ 筆記用具 1セット
☐ ばんそうこう※ 10枚～	☐ 生理用品

災害時の連絡先

生野区役所	6715-9734	電気(関西電力東生吉営業所)	0800-777-8022
生野区保健福祉センター	6715-9882	電気(関西電力東大阪営業所)	0800-777-8023
警察署	110	ガス(東大阪ガス)	0120-0-19424
消防署	119	電話の故障(NTT)	113
下水道(田島管路管理センター)	6751-5048	携帯電話・PHSからは	0120-444113
水道(水道局今里営業所)	6972-4132		
道路(建設局田島工務所)	6751-5000	災害用伝言ダイヤル(NTT)	171

もしもの時に備えて

地震や台風を止めることはできません。被害を最小限に抑えるため、日頃からもよりの避難所や安全な避難経路の確認、地域の防災訓練への参加をしましょう。

